

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1 組：佐藤圭 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 新 文学国語（三省堂） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	●現実と非現実の境界に遊ぶ「月火水木土日」 ●古典文学の魅力と向き合う「源氏物語―北山の垣間見」 ●想像力と創造力のつながりを捉える 発展探究「想像への畏敬―大和路をゆく」		○	○	【知識及び技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	●読みを他の方法で表現する「鞆」 ●作品とメディアについて考える「竹取物語―かぐや姫の昇天」 ●文学のもつ社会的な広がりを考える 発展探究「ピクニックの準備」 発展探究「映画『夜のピクニック』」		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
2 学 期	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	●人間に対する考え方を深める「雨月物語―浅茅が宿」 ●自然に対する見方を深める「方丈記―養和の飢饉・大地震」 ●社会に対する見方を深める「古譚」 ●文学から世界への見方を深める「『虫めづる姫君』の観察眼」		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	●人間についての考え方を深める 「星の王子さま」 ●社会とのつながりについて考えを深める 「藤野先生」 ●人類に共有される課題について考えを深める 「ナガサキの郵便配達」 ●異文化との交流の意義について考えを深める 「卵を抱きながら。もしくは、くせになる翻訳」				【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
3 学 期	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	●人間のもつ本性について考える 「山椒魚」 ●人間の存在について考える 「珊瑚のリング」 ●人生の未来図について考える 「旅する本」		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。				7
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科

国語

科目

国語表現

科目

国語

教科

国語表現

科目

2

単位数

3

学年

1

組

（ 1組：金綱俊伸）

（ 組：

（ 組：

（ 組：

（ 組：

（ 組：

（ 組：

（ 組：

（大修館書店「国語表現」国表701）

使用教科書

国語

教科

の目標：

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【思考力、判断力、表現力等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期 中間	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	レッスン1 自分を見つめて		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○		1
1 学期 中間	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	レッスン2 効果的な自己PR		○	○	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○		2
1 学期 中間	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	レッスン3 将来の自分を考えよう		○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○		3
1 学期 中間	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	レッスン4 志望理由を書こう		○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。		○		3

1 学期末	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く			○	○	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。〔B (2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		3
1 学期末	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。	レッスン6 面接にチャレンジ			○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。〔A (2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	○	○		3
1 学期末	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	レッスン7 グループディスカッションをしよう			○	○	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A (1)カ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。〔A (1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。		○		3
1 学期末	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	■実践トレーニング②			○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	○	○		2
2 学中間	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	レッスン1 通信文を書き分ける			○	○	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書いている。〔B (2)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		3
2 学中間	・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや応答のしかたを理解する。	レッスン2 電話を使いこなす			○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したやりとりを工夫したりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電話での効果的なやりとりのしかたに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		2

2 学 中 間	・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	レッスン3 電子メールを活用しよう		○	○	【知識・技能】 ・伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送っている。〔B (2)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・議論やワークシートへの書き込み、課題の提出をとおして、電子メールの特徴や活用法について理解しようとしている。	○	○		2
2 学 中 間	・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。	レッスン4 ネット社会との付き合い方		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、ネット社会との付き合い方に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ネット社会との付き合い方について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		2
2 学 中 間	・インターネットでの情報の検索のしかたと、その注意点について理解する。	レッスン5 ネットを活用した情報収集		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。〔A (1)カ〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネットでの情報検索のしかたやその留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		2
2 学 中 間	・情報が編集されていることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	レッスン6 メディアと情報		○	○	【知識・技能】 ・さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、メディアとの付き合い方を題材に設定して多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめている。〔B (2)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○		2
2 学 期 末	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	レッスン1 相手や場面に応じた会話	○	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	○	○		2
2 学 期 末	・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	レッスン2 建設的な議論の進め方	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A (1)オ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。〔A (1)キ、(2)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○		2
2 学 期 末	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	レッスン3 スピーチをしよう	○	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、聴衆に対してスピーチをしたり、それらを聞いて批評したりしている。〔A (2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○		2

2 学 期 末	・プレゼンテーションのテーマに合わせて、資料の準備や発表の準備を行う。 ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。	レッスン4 プレゼンテーションの工夫		○	○	○	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、聴衆に対して説明している。〔A (2)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、積極的に活動に取り組もうとしている。	○		4
3 学 期	・読み手の心を動かすことができるような効果的なキャッチコピーを書く。 ・伝えたいことが効果的に伝わるよう、レイアウトやデザインを工夫してポスターを作る。	4 魅力的なポスターを作ろう			○	○	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、コピー、写真、イラストなどを効果的に配置し、ポスターの構成を工夫している。〔B (1)ウ〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、適切なコピーを考え、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ポスター作りに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	4
3 学 期	・読み手を意識し、伝えたいことをわかりやすく書く。 ・調べたことを効果的に伝えるために、内容の構成や冊子の体裁を工夫する。	5 「わが町自慢」のパンフレット作り			○	○	【知識・技能】 ・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使っている。〔(1)オ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、パンフレット編集の目的や意図に応じて、適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、調査内容の簡潔な文章や適切な写真・図の効果的な配置など、パンフレットの構成を工夫している。〔B (1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パンフレット作りに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	○	○	4

高等学校

令和6年度（3学年用）

教科

公民

科目

政治経済

教科：公民

科目：倫理

単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組

教科担当者：（1組：佐藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（詳述政治・経済(実教出版））

教科公民

の目標：

【知識及び技能】政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・国家の三要素と主権について理解する。 ・道徳や社会規範との違いから多面的・多角的に考察する。 ・歴史的な経過を，社会契約説の展開とともに理解する。 ・自由権と社会権が意味するものについて理解する。”	第1章 民主政治の基本原理	・政治と国家がどのようなものであるかを理解している。 ・法の意義と役割について，道徳などほかの社会規範との対比しながら理解している。 ・私法の基本原理として自由で平等な個人による私的自治の原則があることについて理解している。	○	○	○	5
	・民主政治の意義と課題について理解する。 ・民主主義における意思決定のあり方を中心に理解する。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	第1章 民主政治の基本原理	”・ファシズムや大衆民主主義，ポピュリズムといった政治手法と特徴について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・国民主権と民主主義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	・二つの憲法の特徴と相違点について理解する。 ・国民主権や立憲主義の観点にも留意させる。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。	第2章 日本国憲法の基本的性格	・二つの憲法の原理と相違点について理解している。 ・憲法の最高法規性と憲法改正の手続きについて理解している。 ・安全保障について，多面的に考察し，適切に表現している。 ・日本の安全保障のあり方について考察・構想し，それらを適切に表現している。	○	○	○	8
	・日本国憲法が保障する基本的人権について理解する。 ・人権に関する現実社会の課題について理解する。 ・新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。	第2章 日本国憲法の基本的性格	・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて理解している。 ・各種の判例から，人権を守ろうとする法理がどのように成立したかを適切に読み取っている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・衆参両院の構成と衆議院の優越について理解する。 ・委員会制度や党議拘束などについて理解する。 ・内閣の権限を，憲法の条文に基づいて理解する。 ・官主導社会とその課題について理解する。	第3章 日本の政治機構	・p.58の記述を利用して，政治や行政における公文書の重要性について考察を深めている。 ・政治主導・官邸主導と課題について，p.53「exercise」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。”	○	○	○	5
	・司法権の独立や裁判について理解する。 ・裁判員制度や検察審査会について理解する。 ・地方自治の本旨について理解する。 ・戦後の地方自治の課題や地方分権改革について理解する。”	第3章 日本の政治機構	・地方自治が住民自らの意思と責任の下で行われるものであり，民主政治の基盤をなすものであることについて理解している。 ・自治基本条例の制定や自治立法，住民投票などの新しい地方自治の動きについて理解している。 ・p.65の資料3を通じて，地方財政の課題を適切に読み取っている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

1 期	・政党政治の歩みについて確認し理解する。 ・現在の日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・各選挙制度の特徴について理解する。 ・公職選挙法による規制や政治資金を中心に理解する。	第4章 現代日本の政治	・日本の選挙制度について多面的・多角的に考察を深め、いま生じている課題の解決方法を構想している。 ・議員定数の不均衡について多面的・多角的に考察し、改善の方法について構想している。 ・選挙における民意の反映について、p.76「exercise」を利用して考察し、適切に表現している。	○	○	○	8
	・マス・メディアやSNSの役割と政治にもたらす影響について理解する。 ・政治参加の課題について理解する	第4章 現代日本の政治	・SNS時代の情報発信のあり方について、p.78のコラムを利用して多面的・多角的に考察している。 ・よりよい社会の実現のために、政治参加と世論の課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・生産と消費、分業と交換の関係について理解する。 ・希少性や機会費用といった経済的な考え方について理解する。 ・資本主義経済が成立、発展してきた時代背景を確認する。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。	第1章 経済社会の変容	・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 ・資本主義経済と社会主義経済について、それぞれの課題に関する考察を深めている。 ・資本主義における効率性と公平性について、p.88のコラム「exercise」を利用して考察し、それらを適切に表現している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（ 1組：谷野 ）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 年	球技（バレーボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、合意形成に貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い高め合おうとすることなど や、健康・安全を確保することができるようにする。	バレーボール	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなど や、健康・安全を確保することができるようにする。	体づくり運動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査						

予 期	ウインドサーフィン	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	ウインドサーフィン	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						
	ウインドサーフィン	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						
	球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする - こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	バドミントン	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	球技（卓球） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする - こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	卓球	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						

3 学 期	陸上競技（持久走） ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとするこ と、一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようすることなどや、 健康・安全を確保することができるよ うにする。	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技 術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方 法などを理解するとともに、各種目特有の技能を 身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的 な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとと もに、自己の考えたことを他者に伝えることがで きるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗な どを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし ようとするこ と、自己の責任を果たそうとするこ と、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切に しようすることなどや、健康・安全を確保する ことができるようにしている。	○	○	○	5
	陸上競技（持久走） ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルー ルやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとするこ と、一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようすることなどや、 健康・安全を確保することができるよ うにする。	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技 術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方 法などを理解するとともに、各種目特有の技能を 身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的 な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとと もに、自己の考えたことを他者に伝えることがで きるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗な どを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし ようとするこ と、自己の責任を果たそうとするこ と、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切に しようすることなどや、健康・安全を確保する ことができるようにしている。	○	○	○	8
	定期考査						

高等学校

令和6年度（3 学年用）

教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1 組：竹田・仙波・中村）

使用教科書：（ LANDMARK Fit English Communication3 啓林館 ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、5 技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や」	話 「発」	書					
1 学 期	〈聞くこと〉野菜の栽培や地域の活動についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 〈読むこと〉イギリスの小さな町の町おこしについて書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 〈話すこと [やり取り] 〉野菜・果物の栽培や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表・やり取り] 〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 〈書くこと〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。	Lesson1 Incredible Edible イギリスの小さな町を有名にした町おこし						「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	
	定期考査								○	○		1
	〈聞くこと〉名前の呼び方や日本におけるポリティカル・コレクトネスについての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 〈読むこと〉ポリティカル・コレクトネスについて書かれた文章を読んで、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 〈話すこと [やり取り] 〉名前の呼び方や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表・やり取り] 〉日本におけるポリティカル・コレクトネスについて、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 〈書くこと〉日本におけるポリティカル・コレクトネスについて、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。	Lesson4 Political Correctness 避けられるべき差別的な言葉						「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	
	定期考査								○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 家庭科

科目 家庭総合

教科： 家庭科

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 金井洋子 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂 SupetrLiveView家庭科 東京書籍 ）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技術を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身に着けている。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	子どもの生活と保育 【知識及び技能】 ・子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいの中で発達していくことを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの食生活・衣生活,遊びについて理解を深め考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・子どもの世界 ・育つ子ども ・子どもとのかかわる ・子どもの育ちを支える	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。	○	○	○	10
	高齢者との関わりと福祉 【知識及び技能】 ・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者施設での利用者の過ごし方、どんな人が働いているかについてまとめ介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考えることができる。	・さまざまな高齢期 ・高齢者の尊厳と自立 ・高齢者の生活と福祉 ・高齢者の生活を支える	【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している 【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集分析し、自分の考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とのかかわろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	共生社会を生きる 【知識及び技能】 ・人の一生と社会福祉とのかかわりをイメージすることで、「福祉」の意味について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について考えることができる。	・誰もが普通に生活する ・社会保障制度や社会福祉 ・支えあう社会の大切さとボランティア活動	【知識・技能】 ・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支えあいのしくみについて意欲的に理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支えあう社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる				10

2 学 期	食生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考察する。 ・日本の食料自給率の現状と課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報に惑わされることなく安全な食品を選択できるようになる。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。	・日本の食生活の今 ・食の科学と健康 ・美味しさと安全の科学 ・さあ料理を始めよう ・料理の組み合わせを考えよう ・多様な食文化 ・持続可能な食生活	【知識・技能】 ・各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに、日本の食文化の特徴について理解できている。 ・食事の意義や役割について、食文化や食生活を取りまく環境から理解できる。 【思考・判断・表現】 ・食事の意義や役割について、食文化や食生活を取りまく環境から理解できる。 ・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学ぶ態度】 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。 ・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる				16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	住生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・日本の住まいの変遷，生活様式などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・快適な室内環境について，日照・採光，通風・換気，騒音，冷暖房などの要素を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・まちの課題について自分なりに解決策を考えることで，一市民としてまちづくりに参画する姿勢を持つことができるようになる。	・人間と住まい ・健康で快適、安全な住まい ・持続可能な住生活	【知識・技能】 ・住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 ・日本の住まいの歴史や，日本の住まい方の特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家族構成やライフステージなどとのかかわりから，平面図を読み取ることができる。 ・住まいの文化や機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【主体的に学ぶ態度】 ・日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスについても理解し，快適な生活につなげることができる。 ・安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて，住空間だけでなく，周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。				6
							合計
							54